

茅ヶ崎市立病院通信

特集1

高めよう！健康意識と糖尿病への関心

予防が重要な糖尿病及びその合併症。
糖尿病への意識を高めて健康に暮らすために
代謝内分泌内科の取組を
紹介します。

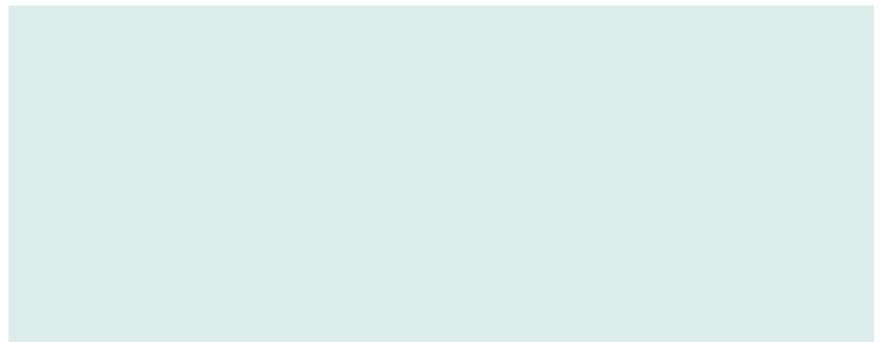
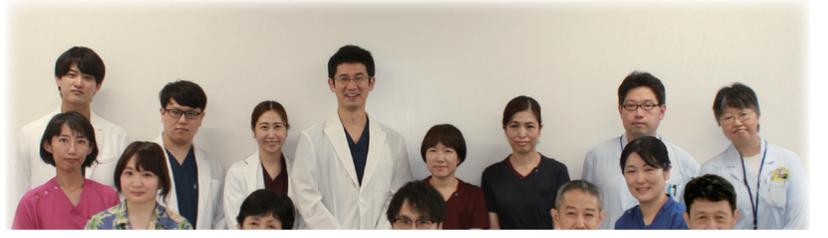


特集2

広がる ロボット支援下手術

昨年導入した手術支援ロボットを
活用する動きが広がっています。手術支援
ロボット「ダヴィンチ」を活用して新たな手術に
取り組む呼吸器外科、外科・消化器外科、泌尿器科の取組を紹介します。





広がる ロボット支援下手術

「ダヴィンチ」が変える手術のこれから

特集 2



当院でロボット支援下手術を導入している3診療科では、いずれもその優位性を実感しています。
(左)外科・消化器外科山田科部長、(中)泌尿器科杉浦科部長、(右)呼吸器外科井上科部長

昨年7月に当院に手術支援ロボット「ダヴィンチ」が導入され、これまで外科・消化器外科、泌尿器科でロボット支援下手術の活用が進められていましたが、この6月から呼吸器外科でも導入を開始。安全で質の高い医療を目指してロボット支援下手術に取り組む各診療科の現状とこれからの展望を紹介します。

患者負担が少ない手術を実現

「傷口が小さい」「手術中の出血量が少ない」「術後の疼痛が少ない」「回復が早い」「術後の合併症リスクが低い」

「ダヴィンチ」は多くのメリットとともに患者さんの体への負担が少ない手術を提供する手術支援ロボットです。

患者さんの体に開けた小さな穴から、先端に3Dカメラや鉗子などを装着した直径8mmほどのシャフトをアームを使って執刀医がコンピュータを操作します。内視鏡カメラの3D画像は約10倍以上の拡大視野で立体的に術野をとらえ、人間の手や腕以上に自由な可動域を持ち、執刀医の意図しない手の動きや震えを伝え、手ぶれ補正機能が付いた鉗子が精密な手技を再現し、患者さんの負担の少ない正確な手術を可能にします。

技術革新とともに進化する医療技術。当院ではこうした最新医療技術を積極的に取り入れ、地域の皆さんの健康な暮らしをお手伝いしています。



執刀医が拡大された術野の画像を見ながら操作するペイシェントカート

呼吸器外科



呼吸器外科部長
井上 雄太

日本外科学会外科専門医、
日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医
令和4年4月入職より現職

より効果的な呼吸器外科手術の新しい選択肢として

呼吸器外科領域ではロボット支援下手術は、狭い部分での処置に長けているという特徴から、縦隔腫瘍(*)での導入を進めています。

従来の縦隔腫瘍の手術、特に胸腺上皮腫瘍で開胸手術を選択する場合、胸骨という胸の真ん中にある板状の骨を切離し左右に開くことで心臓の前の胸腺を摘出していました。しかし骨を切離した場合1か月くらいは力仕事を控えなければならないなど運動制限がかかったり、切離した骨がくっつくまで痛みも感じやすいです。そのため骨を切らない手術をする方法として、肋骨の隙間や剣状突起下から器具を入れ操作する胸腔鏡下手術が開始され、社会復帰も従来の開胸手術よりも早くなりました。しかし、器具の操作制限により大きな腫瘍ではどうしても開胸手術に頼らざるを得ない場面も多くなりました。胸腔鏡下手術よりも胸腔内で自由に鉗子やカメラの角度を変えられるロボット支援下手術ならば、さらに手術の精度が高まるだけでなく、開胸手術

を行っていた症例の一部も対応できるようになりました。ロボット支援下手術は胸腔鏡下手術の発展形としての縦隔手術の新しい選択肢として大きな意味があります。既に6月に1例行い、広く告知していないにも関わらず、7月、8月、9月にも予定が入っており、ロボット支援下手術のニーズを感じます。

呼吸器外科では基幹病院である東京大学とも連携しており、リモートにより症例提示をしながらカンファレンスを行うなど、高次医療機関と共有する知見を積極的に地域に提供して、より確かな治療を進めています。今後、縦隔腫瘍のロボット支援下手術の経過を見て、さらに肺がん手術への展開を検討していきたいと考えています。



精密な動作を可能にする鉗子。つまむ、はがす、切る、縫う等コントローラーの操作に連動して正確に動きます。

*縦隔腫瘍…縦隔とは左右の肺の間に位置する部分で、心臓、大血管、気管、食道、胸腺などの臓器があります。縦隔腫瘍はこの縦隔内臓器に発生した腫瘍で、胸腺腫、のう胞、神経原性腫瘍、胚細胞性腫瘍、胸腺がんと悪性リンパ腫などがあります。

外科・消化器外科



外科・消化器外科部長
山田 純

日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会消化器外科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、身体障害者福祉法指定医
平成28年4月入職
令和5年4月より現職

6月からロボット支援下手術を胃がん手術にも拡大

昨年7月から直腸がんに対する直腸切除・切断術、さらに11月から結腸がんに対する結腸切除術に「ダヴィンチ」によるロボット支援下手術を実施。手術実績は合わせて、50例以上となっています。

外科・消化器外科ではここ数年、腹腔鏡下手術が一般的になっていましたが、腹腔鏡下手術では体内に挿入する鉗子やカメラが直線的な動きに制約されるのに比べ、ロボット支援下手術では人間の手以上に自由な可動域を持つカメラや鉗子などの装置を利用でき、またカメラの画像も3Dでさまざまな部分を映し出せることから、これまで腹腔鏡下ではできなかった処置や開腹手術でも手の入らなかった部分への処置も可能になりました。

また6月より胃がんの胃切除・切断術にもロボット支援下手術を導入しています。大きな倍率に拡大できる画像と精緻な動きを可能にす

る鉗子などにより、脾臓やリンパ節を傷つけることなく、合併症も減少したというエビデンスも出ています。

学会のガイドラインに沿って、ステージ1の早期がんにはロボット手術、進行したがんには腹腔鏡下手術を、必要に応じては開腹手術で対応していきますが、今後は、ロボット支援下手術は当院の外科・消化器外科手術の中心になるかもしれません。お住まいの地域にも先進のロボット支援下手術を実施している病院があることをご理解いただいて、胃がん・直腸がん・結腸がんの心配があるようでしたら、当院にご相談ください。



体内に挿入する鉗子は柔軟な操作ができるように関節を備えており、人の手よりも広範囲に稼働します。

泌尿器科



泌尿器科部長
杉浦 晋平

日本泌尿器科学会泌尿器科専門医、身体障害者福祉法指定医
平成30年4月入職
令和2年4月より現職

質の高い手術を短時間で。機能温存にも効果を発揮

昨年7月から前立腺がんに対してはロボット支援下手術を行い、症例数は30例を超えています。前立腺がんの手術に関しては、それまでほとんど腹腔鏡下手術でしたが、その全てがロボット支援下手術に代わりました。

ロボット支援下手術では、高画質で立体的な3Dハイビジョンシステム映像の下、拡大視野で、今まで認識できなかった細かい繊維を確認しながら精巧な手術ができるようになります。また、炭酸ガスで腹腔内を膨張させて手術するため、開腹手術に比べて出血は少なくなります。さらに、短期間で操作に慣れやすく、手術の質も向上するため、時間をかけずに手術を終えることができ、患者さんの体力的な負担も大幅に減少させるというメリットもあります。また、前立腺手術では尿失禁などに対する機能温存も大きなテーマですが、これもロボット

支援下手術の方が回復が早いようです。

泌尿器科領域の中でもロボット支援下手術の保険適応が広がっていく中、9月ごろには膀胱でのロボット支援下手術を、さらに腎臓手術へと展開を考えています。

茅ヶ崎市には泌尿器科のクリニックが多くないので、泌尿器科の悩みを内科の先生に相談されることも多いと思いますが、当院は専門病院と同じように質の高い医療を提供しています。泌尿器系で少しでも気になることがあれば、かかりつけの先生とご相談のうえ、当院の受診をご検討ください。



術野を立体的な映像でとらえる3Dカメラ。患部を様々な角度からとらえることができます。

DMAT(災害派遣医療チーム)を石川県へ派遣しました

当院は、1月1日に石川県で発生した令和6年能登半島地震に対し、厚生労働省の要請を受けDMAT(災害派遣医療チーム)の派遣を行いました。

活動の拠点は地域の拠点病院で入院治療ができる唯一の病院である、珠洲市総合病院です。1月13日から17日にかけて診療面、運営面でのサポートを行いました。

被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

DMAT (Disaster Medical Assistance Team) とは

県内外で地震及び航空機・鉄道事故などの大規模災害の発生直後に活動できる機動性を持ち、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた災害派遣医療チームです。



特定行為研修指定研修機関に指定されました

当院は、令和6年2月に厚生労働省から「特定行為研修指定研修機関」として指定されました。

7月には特定行為研修の開講式が実施され、「創傷管理関連」と「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の2区分で院内から2名の研修生を迎えて研修がスタートしました。



特定行為研修 (開講式)

特定行為って？

平成27年に厚生労働省が施行した「特定行為に係る看護師の研修制度」によって定められました。特定行為とは専門的な知識と技術が必要とされる行為のことで、21区分38行為があり、それぞれ区分ごとに研修があります。

医師・歯科医師があらかじめ作成した手順書(指示)をもとに特定行為研修を受けた看護師が患者さんへ必要なケアをタイムリーに提供できるといわれています。

定期的な受診が大切!

人間ドックのご案内



頭部MR検査に使用される3.0テスラMRI装置

- ◆精密検査や治療が必要な場合、当院の予約が可能で人間ドックのデータが活用できます。病院を探す手間や再度同じ検査を行う負担を軽減できます。
- ◆独立した施設で落ちついた環境での受診ができます。
- ◆午前中に検査、午後に結果説明と医師による健康指導を行います。
- ◆富士山を望む眺めのいい院内レストランに昼食を用意しています。
- ◆内視鏡検査は、内視鏡センターでの鎮静下内視鏡検査への変更も可能です。

実施日 月・火・金曜日(祝日、年末年始を除く)
午前8時30分から

料金 Aコース **49,500円**・Bコース **38,500円**
(ともに消費税込)

オプションも充実

- | | |
|---|---------------------------|
| ▶ 頭部MR検査 …………… 39,600円 | ▶ 腫瘍マーカー検査 …………… 4,400円 |
| ▶ 婦人科系検査(女性のみ) …… 2,200円 | ▶ C型肝炎検査 …………… 1,320円 |
| ▶ HPV検査
(婦人科系検査受診者のみ) …… 1,730円 | ▶ PSA(前立腺)検査(男性のみ) 1,760円 |
| ▶ 乳房検査
(マンモグラフィ) …………… 3,300円 | ▶ H・ピロリ菌抗体検査 …………… 1,650円 |
| ▶ トモシンセシス(3Dマンモグラフィ)
(乳房検査受診者のみ) …… 6,600円 | ▶ エイズ検査 …………… 1,430円 |
| ▶ 骨密度測定検査 …………… 880円 | ▶ 梅毒検査 …………… 510円 |
| | ▶ バリウムから内視鏡への変更 3,300円 |
| | ▶ 鎮静剤使用 …………… 2,200円 |
| | ▶ CA125検査(女性のみ) …… 1,760円 |

お申し込みについて

予約制となります。

受診希望日の2週間前までに、電話か、直接来院してお申込みください。健康保険組合に加入されている方は、組合経由でお申し込みください。

健康管理センター

電話 0467-52-1566(直通)

受付時間 午前8時30分から午後5時、月～金曜日(祝日、年末年始を除く)

■ 紹介状をお持ちください

初期の医療は患者さんの身近にある診療所が担い、診療所が対応できない医療は地域の基幹病院が担うという医療機関の機能分担の推進を目的として、一般病床200床以上の地域医療支援病院では選定療養費の徴収が義務づけられています。

他の医療機関からの紹介状を持たずに当院を受診する場合は、通常の初診料のほかに選定療養費として7,700円(税込)をご負担いただきます。



茅ヶ崎市立病院

TEL:0467-52-1111



病院ホームページ

- ◇ 受付時間 = 午前8時30分～11時
- ◇ 診療時間 = 午前9時～午後5時
- ◇ 休診日 = 土・日曜日、祝日、年末年始